

# 小川ひなた荘だより

ハートラちゃんと一緒に！



日本赤十字社の公式マスコットキャラクター「ハートラちゃん」  
今回の台風15号、19号、その後の大雨災害など、被災地の方が少しでも早く元の生活に戻れるよう、皆さんと一緒に祈ります。

## ～笑顔がある生活を目指して～

いつもご家族の御協力と御理解に感謝しています。

ひなた荘では笑顔がある生活を目指し、利用者の皆様に少しでも季節の行事等に触れていただきたいと考えています。今後もよろしくお願ひします！

<6月><7月>

梅干しづくり

今年もひなた荘では、梅干しを作りました！

見ているだけで口の中が酸っぱくなってきそうです！

夏の塩分補給に大活躍しました。毎年楽しみにしています！

<9月>

敬老会の行事食

赤飯・天ぷら・おひたし

デザートはメロンです。



<9月>

お月見の飾りとお団子作り  
ボランティアさんと一緒に、  
みたらし団子を作りました。  
高齢者でも食べやすいよう  
豆腐を混ぜたお団子です。



<10月>

福祉まつり作品の展示

毎年 10 月末には小川町の福祉まつりに参加して、皆さんの作品や日頃の写真など紹介していますが、今年は台風の影響で中止となりました。

皆さんが夏から準備していた貼り絵や習字作品は、施設内の面会ルーム・居室フロアに掲示しています。

どれも力作ぞろいです。ぜひご覧ください。

貼り絵作品の一つを紹介します。

「おいしそうなリンゴが出来ました！」



## 小さなお話

これはご利用者の方からお聞きした  
お話を元にしたフィクションです

姉ちゃん、ゴメン。

俺、ぜんぜん覚えて無いんだよ。

目が覚めたら、隣に姉ちゃんがいたんだ。

「まったく、やっと気が付いたの？」

「しばらくぶりの連絡かな？って思ったら、こんな事になって…」って。

まったく、お前からの連絡はいつもろくな事じゃない」って。

ホントにゴメン。ここ、病院なんだね。

俺、どうしたんだ？どこかで倒れた？

誰かが姉ちゃんに連絡してくれたんだね。

いつもねえちゃん俺の近くに来てくれたね。

俺は五人兄弟の末っ子で、姉ちゃんは

四番目。他の兄弟は、もう大きかったから

姉ちゃんがいつもそばにいた気がするよ。

ほら、あの時のこと、覚えてる？

俺が家の前で泣きべそかいていた時のことだよ。

たぶん小学校の3年か4年くらいだったかなあ。

俺って同級生や下のやつらにはいつも威張ってたけど、あの時、上級

生から『俺の弟を泣かした』とか言われて、逆にやられちゃったんだ。

姉ちゃんは「バカだねえ」って言いながら、俺の頭をグリグリと撫で

てくれて…あれ、魔法だよ。気持ちがスーッとするんだ。

そんなの知らないって？いいよ、覚えて無くて。

もう親もないし、兄弟も姉ちゃんと二人だけになっちゃった。ずつ

と独りで勝手やってゴメン。今だから言うよ。

ありがとう。俺には姉ちゃんしかいないんだ。

「何言ってるの」あつ！頭グリグリされた？えへっ…



## 『地震・雷・火事・台風？』

「地震・雷・火事・おやじ」昔から怖いものと言う言葉ですが、この「おやじ」って「山風（やまじ）」台風」がなまった言葉という説があります。

職員「地震・雷・火事・おやじって言葉は親父ですか？」

A様「昔の親父は怖かったからねえ。だからこんな言葉もあるんだね。」

B様「なんか、おやじって台風の事だって聞いたことがあるよ。」

C様「台風は怖いよ。昔は家がボロ屋だったから、風で飛ばされちゃうんじゃないかって心配で仕方なかったよ。」

A様「今度の台風は怖かったねえ。町の放送が何度も鳴るとそれだけで恐ろしくなるよ。」

B様「ウチは昔、台風で家を流された事があるんだ。だから親父さんは台風が来るって聞くと落ち着かなくなるんだ。」

D様「子供の頃は台風っていうと、ワクワクしたもんだけどね。

大人たちは台風が来るって聞くと、前に急いで稲刈りしたり、家の周りの片づけをしたり大変だったよ。」

B様「この辺は災害の少ない所だと思っていたけれど、近くの川が増水するとビクビクしたもんだ。」

C様「裏山が崩れた時には驚いたね。まあ

その時は納屋が壊れたくらいで済んだけど…」

A様「今ほど正確な情報も無いからね。」

今回の台風では多くの地域で大きな被害が出ました。この地域でも河川の氾濫や越水などのため、浸水や道路への被害が多数ありました。

台風の翌日、見慣れた田んぼの景色が一面の泥の海になっていた光景は忘れられません。怖いもの一番は台風になりました。



## 台風第19号の被害について

先般、関東地方を襲った台風19号は小川町内や近隣にも浸水や土砂崩れなど被害の爪痕を残しました。

被害に遭われた皆様にお見舞い申し上げます。小川ひなた荘では利用者様やご家族様の被災、施設設備にも大きな被害が無かった事に安堵しています。年々増加する自然災害ですが、施設では日頃から備蓄品等の見直し、避難訓練等の実施により職員の防災への意識を高めていきたいと考えています。



## インフルエンザ感染への対応について

例年、流行を繰り返しているインフルエンザですが、今年はずでに県東部で流行が確認されています。抵抗力が弱い高齢者は感染から重症化する場合もあり、日頃からの予防が肝心です。流行拡大時には、面会を制限させていただく事もありますので、ご協力をお願いいたします。なお、面会時の手指消毒、マスク着用、手洗いについても皆様のご協力をお願い致します。



## 中学生社会体験チャレンジ

10/23～10/25の3日間、小川町立東中学校社会体験チャレンジの生徒さん3名を迎えました。

囲碁やオセロゲーム、折り紙など利用者様とのレクリエーションなど高齢者施設の日常生活を体験してもらいました。

これを機会に福祉への興味を持っていただき、高齢化社会を担う人材に成長されることを願っています。



## 編集後記

### 季節の花言葉 「イチョウ」

イチョウの花言葉は「長寿」「荘厳」「鎮魂」です。「長寿」という縁起の良い花言葉には、イチョウの木が実をつけるまで長い年月がかかること、樹齢が長いことなどの由来があります。生命力の強い木で樹齢1000年を超えることもあり、樹皮の厚さと水分を多く含むことから火に強く、建物が燃えないようにとの願いを込めて植えることもあるようです。

